

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 17 日

事務事業名		非常勤・臨時職員等管理事務			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	060402000590
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	010301
		0604 組織経営と人事マネジメントの充実			主要事業		職員課	
政策	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり		市長マニフェスト			
体系	施策名	04	組織経営と人事マネジメントの充実		未来PJ事業		グループ	人事給与G
	手段名	02	②組織機構の適正化		合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	01	02	01	00	単年度繰返し (年度~)	
法令根拠					人事管理業務			
地方公務員法第3条第3号3項、17条、22条第5項					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>職員定数(人件費)の削減とともに多様な住民ニーズに対応した質の高い行政サービスを実現するために、専門的な業務を行う嘱託職員、職員の欠員を補足する一般職非常勤職員、緊急的な事業・育休代替を補う臨時的任用職員を雇い入れることは不可欠である。年々、行政サービスが複雑多岐になってきているため、上記の非常勤職員等の雇用数が徐々に増えている状況にあるが、任用根拠を明確にして、雇用者に不利益のないように雇用管理にあたる。</p> <p>職員定数削減をすすめるにあたり、欠員補充措置として窓口部門に一般職非常勤職員を配置している。</p>	<p>財政課で行う次年度予算編成ヒアリングに同席し、各課の臨時職員の必要性の有無の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤手当(費用弁償)の支給 ・特別休暇制度の導入(嘱託職員・一般職非常勤職員) ・時給単価の見直し ・雇用保険加入、喪失の手続き ・社会保険加入、喪失の手続き

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
財政課で行う次年度予算編成ヒアリングに同席し、各課の臨時職員の必要性を検討。 ・通勤手当、特別休暇制度(嘱託職員・一般職非常勤職員) ・時給単価の見直し、雇用保険・社会保険の手続き、労災保険の見直し	非常勤職員の採用人数	人	255.00	250.00	238.00	238.00	238.00	
	非常勤職員等を必要とする事業数	件	35.00	35.00	33.00	33.00	33.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
非常勤・臨時職員全員	非常勤職員等を必要とする課・所	課	20.00	20.00	22.00	22.00	22.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
職員数削減と質の高い行政サービスを両立させるため専門的な業務を行う嘱託職員、一般職非常勤職員、臨時的任用職員の雇用を管理し最小限の財政負担を実現する。	必要とする臨時職員等を配置できた課・所	課	20.00	20.00	22.00	22.00	22.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	40,620	36,796	76,325
	事業費計(A)	千円	40,620	36,796	76,325	76,000
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	700.00	700.00	700.00	
	人件費計(B)	千円	2,048	2,048	2,048	
トータルコスト(A)+(B)		千円	42,668	38,844	78,373	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)			
	01 報酬	14,852		01 報酬	19,890		
	04 共済費	20,400		04 共済費	45,682		
	07 賃金	1,279		07 賃金	10,277		
	09 旅費	257		09 旅費	476		
	19 負担金補助及び交付金	8					
合計			36,796	合計			76,325

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	非常勤・臨時職員等管理事務	事務事業No.	60402000590	所属課	職員課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 育児休業、長期療養休暇で人員が不足する場合に非常勤職員を雇用する。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 臨時職員の有給休暇等の処遇改善		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1"> <tr> <td>改革改善を行う</td> <td>今後、雇用と年金の接続に伴い定年退職者の再任用義務化が想定される。今まで非常勤職員で賄っていた職務を再任用職員を充てていくことを検討しながら、非常勤職員数の削減を図っていく。常勤職員を充てるよりも人件費のかからない非常勤職員を配置しているため、非常勤職員数が増加していることはやむを得ない。適正な事務事業の執行のために、市職員としての意識と責務を認識してもらうように適宜非常勤職員向けの研修を実施を検討していく。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	今後、雇用と年金の接続に伴い定年退職者の再任用義務化が想定される。今まで非常勤職員で賄っていた職務を再任用職員を充てていくことを検討しながら、非常勤職員数の削減を図っていく。常勤職員を充てるよりも人件費のかからない非常勤職員を配置しているため、非常勤職員数が増加していることはやむを得ない。適正な事務事業の執行のために、市職員としての意識と責務を認識してもらうように適宜非常勤職員向けの研修を実施を検討していく。
改革改善を行う	今後、雇用と年金の接続に伴い定年退職者の再任用義務化が想定される。今まで非常勤職員で賄っていた職務を再任用職員を充てていくことを検討しながら、非常勤職員数の削減を図っていく。常勤職員を充てるよりも人件費のかからない非常勤職員を配置しているため、非常勤職員数が増加していることはやむを得ない。適正な事務事業の執行のために、市職員としての意識と責務を認識してもらうように適宜非常勤職員向けの研修を実施を検討していく。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市のいろいろな事務事業で、非常勤職員等を雇用して事業を遂行している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 各種事務事業の円滑に進めるための人員確保
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 事前協議をすることにより、最小の人員配置をする。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事務事業の停滞をまねく
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業は無い
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は臨時職員等の雇用に係わる法定費用のみなので削減はできない。人件費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担等は、雇用に係る保険料であるが法に基づき適正に負担してもらっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>②有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 制度の拡大や業務の見直しに伴う正規職員の削減(臨時職員を配置)により臨時職員の採用は年々増加傾向にある。委託可能な業務や臨時職員でも対応できる業務の切分けを検討し、無駄な配置がないよう担当課と検討していく必要がある。																
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
(3) 今後の事業の方向性 <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 </td> <td rowspan="2"> (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる </td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持				(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止																												
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持			×																									
	低下			×																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 法改正により平成32年度より会計年度任用職員へ切り替わり、臨時職員等への処遇が大きく見直されることから、歳出が大きく増えることは避けられない。今後とも臨時職員等については配置の検討また、業務委託を検討していく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	②																							
成果優先度評価結果	⑥																												
コスト削減優先度評価結果	②																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---